

## 望幻 Hadash クラブ

11期 ..... 寺田康男 記

### 1 組織(スキー協とクラブ)の活性化は進んだの? 今期のHadashクラブの到達点と次期への期待

#### (1) Hadashとスキー協への関わり(理事会・役員会等)

- ① 寺田康男が理事長として、寺田康平がボード部長として愛知スキー協理事会へ参加。
- ② 総会へは、荻野、古林、が毎年参加してくれているが、代わり映えがせずスキー協との関わりが進んだとは考えにくい。
- ③ 指導員は、6人。研修完了指導員は、3名だった。指導員である必要性が無くなったからだと思う。

#### (2) スキー協通信への関わり

- ① 皆で作る、位置づけには至っていない。個々の役割をもって、関わるようにしたい。その事を通じてクラブの通信作りにも目覚めるといいなあ〜とおもいます。

#### (3) スキー協各行事の参加 と関わり=述べ 22名

- ① 総会=4名  
儀礼的参加に留まる。退屈しない、楽しいものをなんとしても開催しないことには、どんどん形骸化していくと思います。
- ② 学習交流会東海ブロック=1名  
組織論を考える機会にし、クラブや専門部の核づくりの場としたいと思っています。
- ③ 全国研修会=2名
- ④ 初滑り=2名
- ⑤ スノーフェスタ=3名  
取り組の工夫次第で、クラブスキーの半数は取り込める行事だと思っています。
- ⑥ レベルアップスキー=1名
- ⑦ デモ選対策スキー=1名
- ⑧ ポール合宿=4名
- ⑨ 2戦参加者=2名  
子どもの年齢が上がり、今までの様には簡単に参加してもらえない要素が出てきたと思う。
- ⑩ 全国スキー・スノーボード競技大会=2名
- ⑪ Hadashの次世代は、今後ボードでの参加をしていく可能性が高いと思うので、対応できる体制を考える必要がある。遅れると次世代を逃がしかねない。

#### (4) 各個人とスキー協の専門性への関わり(これからもってほしい希望)

- ① スキー指導員の技術=寺田康平、寺田康男、梶田乃理子
- ② スキーデモ技術=寺田康平、(竹内創)
- ③ 競技スキー=梶田幸孝、寺田康男、寺田康平
- ④ スノーボード=梶田峻介、寺田康平
- ⑤ 山スキー=(寺田康平)
- ⑥ 幼児の教室=(沖中美佐)(梶田乃理子、)
- ⑦ 初心者指導技術=(荻野恒雄)

#### (5) クラブ行事・会議・の状況

登録人数= 14名→12名 クラブ員=6 家族24名(家族登録を含む)

- ① クラブ員数は1家族が減。
- ② 新しいクラブ会議の体制と楽しみをつくる必要がある。(寺田の家に集まり、中心を食べることと話す事が、今期も一度も出来なかった。)
- ③ 3月に参加者5名、菅平にてクラブスキーツアーを行う(その内次世代が2名だった)
- ④ 6月22日熱田区豊盛 9名参加 総会

(6) クラブの特徴

① 親は子どもを出しにスキーに行き、子どもは子どもたちで結束して遊び方を考える。

② 子どもが、個々に巣立ってしまった。

③ 拠点スキー場は、菅平高原パインビークスキー場 拠点宿は松栄屋

(7) 今後について

① 会則を変更する ② クラブを解散する = 今、はしない ③ 3/7・8 菅平高原パインビークスキー場

④ 8月キャンプ ⑤ 日間賀島 ⑥ 初滑り ⑦ フェスティバル